

千葉市水道事業中長期経営計画の 進捗状況について



令和4年度第1回

千葉市水道事業運営協議会

令和4年8月17日（水）

千葉市水道局

千葉市水道事業中長期経営計画の進捗状況について

3つの基本方針（災害に強い「強靱」な水道、安定した「持続」可能な水道、「安全」で安心して利用できる水道）に則り、令和3年度は基本施策を計画的に実行した。（計画期間：令和3～12年度）

＜収支計画＞

項目		令和3年度の結果			
経営	企業債残高の縮減	計画 15,604 百万円	→	実績 15,599 百万円	削減 5 百万円
	一般会計繰入金	計画 1,730 百万円	→	実績 1,630 百万円	削減 100 百万円

＜主な基本施策＞

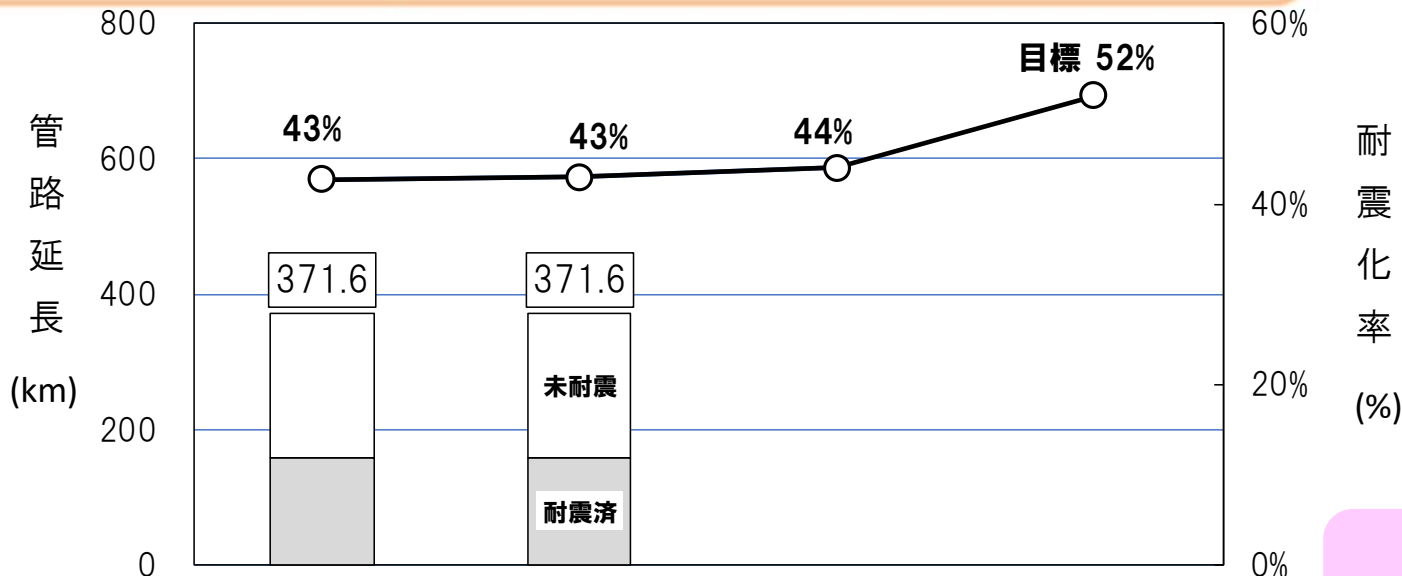
基本方針	主な基本施策	実現方策の内容	令和3年度の結果
強靱	管路の耐震化	更新基準年数や、優先度を考慮した管路の更新に合わせ耐震化を図ります。	詳細説明（P2）
	自家発電設備の能力強化	浄水場等への自家発電設備の整備や停電を考慮した燃料タンク容量の増量等の整備を推進します。	詳細説明（P3）
	災害時などの対応力強化	災害が発生した場合に備え、関係機関などとの協力体制を確立し、迅速な応急復旧による対応力の強化に努めます。	県や市建設局、区役所との訓練等を実施
持続	浄水場等の設備更新	更新基準年数や更新の優先順位に基づき、平川浄水場、大木戸浄水場及び大野台送水ポンプ場などの設備を更新します。	詳細説明（P3）
	統合や広域連携強化	千葉県に対して、県営水道と市営水道の統合を求めています。	議題説明（資料3）
	水道施設の統廃合	施設の適正規模へのダウンサイジングや統廃合について検討していきます。	詳細説明（P4）
安全	「水安全計画」に基づく水質監視	「水安全計画」に基づき水質監視の実施に努めます。	水質検査計画を作成・実施
	未普及地域の配水管整備	給水要望に応じて配水管などの整備を実施します。	整備実施中（若葉区）
	指定事業者への指導・助言	講習会等を活用した指導・助言を行います。	継続実施

管路の耐震化

計画目標：令和12年度末

・52% (197km/381km) (令和元年度末43% (158km/371km))

〔 整備内訳 ・「強靱」 33km (更新29km、新設4km) 〕
 ・「安全」 6km (新設) 〕



年度	R2	R3	R4	R12
耐震化率(計画)	43%	43%	44%	52%
耐震化率(実績)	43%	42.7%(43.0%)		
耐震化率(県)	24.8%			
耐震済	158.5km	158.5km(160.3km)		
未耐震	213.1km	213.1km		
全体延長	371.6km	371.6km(373.1km)		

令和3年度
 工事：令和4年度へ
 繰越
 設計：計画通り完了



計画43.0%に対し、実績は42.7%である
 ()内は発注ベースで耐震化率43.0%

設備の更新・改良

計画目標：令和12年度末

- ・浄水場等 4か所
(平川浄水場、大木戸浄水場、大野台送水ポンプ場、計量施設)

令和3年度

老朽化した自家発電設備の更新 + 能力強化
(令和3~5年度平川浄水場設備の更新を継続実施)



老朽化した自家発電設備（非常用発電）の更新に加え、強化

燃料タンク容量 600ℓ ⇒ 1,950ℓ へ改良



自家発電設備の稼働継続時間
24時間以上

配水系統の統合

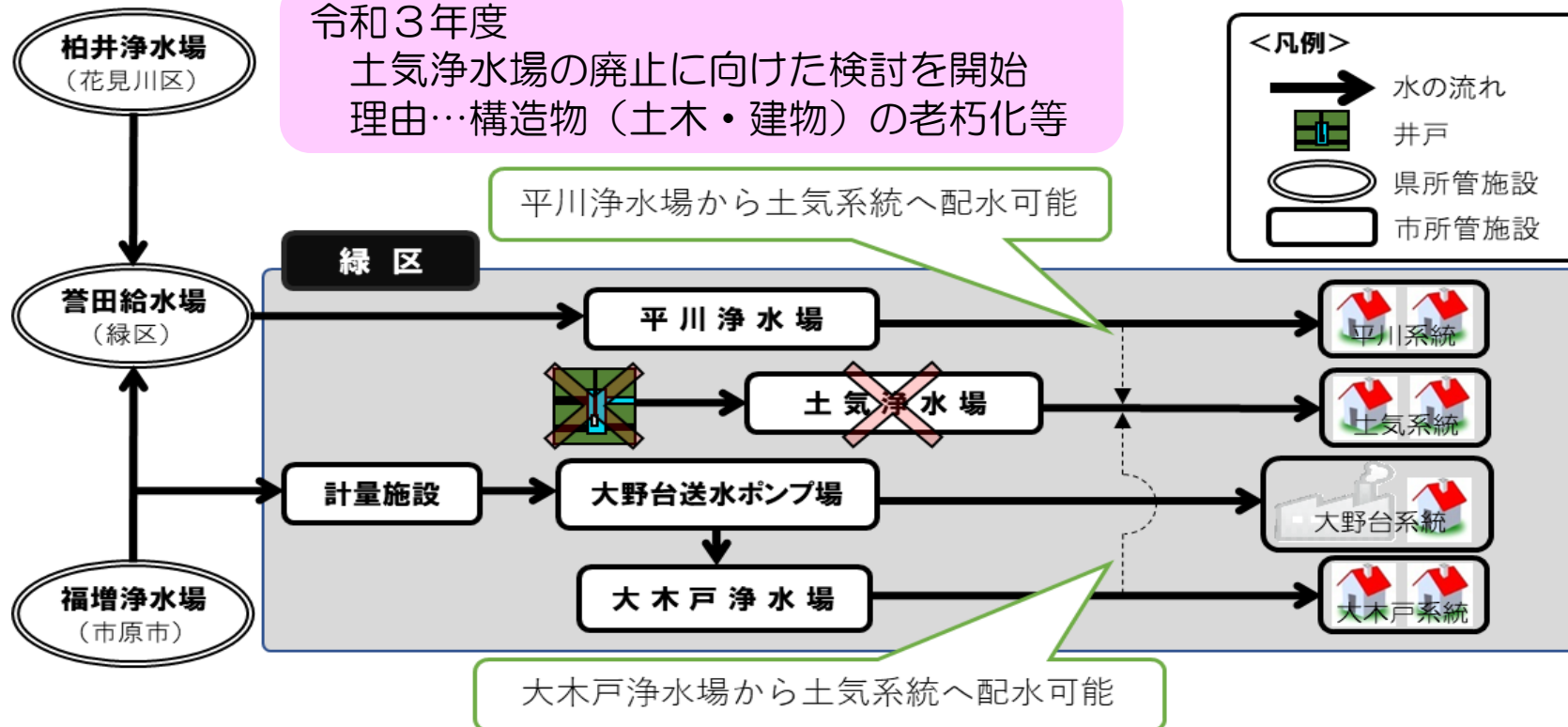
計画目標：令和12年度末

・施設の廃止検討

(井戸浄水場の廃止検討に伴う水運用計画の作成など)

令和3年度

土気浄水場の廃止に向けた検討を開始
理由…構造物（土木・建物）の老朽化等



土気浄水場の廃止に向けた管網計算（シミュレーション）を実施

ポンプ能力UP等の施設改良は必要であるが、配水は可能

今後は、関係者との協議、施設改良と系統切り替えの方法やスケジュール等、課題の解決に向け、対応をしていきます。